

前書  
 早急ニ先礼ヲモ者ミス書状ヲ以テノ持換抄評シ下サイ。小生等生事忙繁期ヲ  
 迎ヘ斯ク生活ヘノ光明ニ微ク在ラモ得シ得シソシアル昨今業下取人同志同ノ  
 生事ヘノ奮励未タ康寧ニ安ノ増大スルカ如キ同類次第致シ甚ク香シカラス  
 莫クテ示レテ来シテ居ルノテアリコトモスルニ業下失業取コノ年毎ニ増カ依向等  
 ニ拍車ヲ掛ケテラレテ生活ヘノ恐怖除去ニ為大衆動員の手段ヲ選ハノ外ナルト  
 ヲ思ヒ七レマレメツ、アハ昨今チアリマス以テ原因ハ社会的不逞ヲモトヨリ必  
 然的トハ考ヘテ居ルノテスカソレカトテ或行毒セテ小生等場トシ得ス魚度日  
 夜ヲ返シテ居ル次第オテ不幸ニシテ何屋倒ノ好意相得ハ徒然十振性ノ必奪ヲ敢テ  
 薄キ未タラス未タ然ニ知レ得ルト考ヘ書面ニテ甚々失礼ヲ作ラ状勢作報告係々何人  
 トシテ傳歌ヒ申上ケ居ルハト思ヒソイタテアリマス。即チ小生等ノ互接  
 影響アル同類トシテ次第ニ業下ヲ採リ上ケテラレテ進メヨラレントシテアルノテア  
 リマス  
 (一) 労次便給ノ低下トナル徒才増カ、失業者増カ依向ノ原因ハ同屋ヨリ受取ル請  
 取便給カ安イ為メアリ昭社ハ年秋同屋ニ場主同ニ於テ依定セラレタル便給  
 カ今日各当性ヲ失ソテ未テ居ルカラダ必然的ニ各々十便給逐列上ケテ居ルハ  
 ネハナラナイ  
 (二) 母ケレハ何処ヲ問ハス取列セントスル社会的道義観念ノ浸蝕ニカ果正ノ為ノ  
 斗ヒ以上ニ突カ其ノ中々突トソテ居ルノテアリマス。直シク汚批判ノ上最底  
 的解決策ノ如キヲ採ラサシメサル様持努力賜リ度汗流浹背申上ケル次第オテ  
 ス

東京織物同業組合 幹事長 殿

田中政四郎

啓明書

今年度秋季手拭加ニ便給同類トシテ、東京洋布加ニ同業組合カ昭社八年度赤  
 東織物同業組合ニ依定便給一十三元八角ノニ割上付テ決裁シ、同屋倒  
 及一般ニ要請運動ヲ致シテより既ト月餘ニ至リテも、何等進展せず、徒然ト  
 社会情勢ノ非ニ益々加重セララ、之揚ノ同感と嘆クのみ、それカ引いて吾々に  
 生活ヘノ重圧トオツテ居ル、便給ノ低下大業期間ノ延長等ニ係儀亦クせしめら  
 ルニ結果ニオリ来テつて居ル、時勢ノ然ラレテ此等ニ吾等又考慮せずは  
 さらぬ、然レ何人午位ノ、我々主要社会ヲ持ッ欠陥カ此ノ最大原因ニ成す可  
 とせば人爲的ハ人爲的ニ成ラズ、改革シテ行ッテサレハ思ハレぬと思ハレ、勿論  
 其ノ行指ト有テ、我々多ク難同持性アリト屋、投子自派ニ待ッヨリ、新子生さ  
 為最後の努力ニホマンと決意セテ吾等である、大業手ト左迫セラレ、然レも  
 家の中堅ニ成セテ中々業カ労次共ト此ノ悲境ニ敢テ甘美シサレハ是れは是れ  
 理由ハ、受当性ニ失ハレ、社会持権ノ健全ニト信託シ、立つて積年の  
 弊を一掃シ、舞々得来ニ招寄ヤムツト東京味モ加ニ同業組合決裁異代ノ為  
 ト断子斗ハ貴クであらう幸と比処ト声明す

昭和十年十一月廿三日

全口手中ニ組合